



# 瀬戸内市 第2次 DX戦略方針 および R8年度方針について

2026/6/5

瀬戸内市 総務部 DX戦略室

# アジェンダ

- 第2次 DX戦略方針について
  - 国/県/他市/本市の動向
  - 戦略の基本理念
  - DX戦略方針 構成
  - DX戦略方針 対応方針
  - 目指すDX戦略のイメージ
  - 全体の概要スケジュール
- R8年度 DX戦略について
  - R8年度 DX戦略推進体制
  - R8年度 DX戦略重点施策
  - R8年度 DX人材育成計画
  - R8年度 その他人材育成計画
  - R8年度 DX戦略概要スケジュール
- R7年度 DX戦略活動報告
- 依頼事項

# 第2次 DX戦略方針について

「第2次 瀬戸内市DX戦略方針」の策定における背景および概要について説明します。

# 国の動向

令和2年12月「自治体DX推進計画」が閣議決定されて以降、国は当該計画を随時改定し、令和7年12月「自治体DX推進計画 第5.0版」が発表されました。

**その中で、以下の重点取組事項およびデジタル社会の実現に向けた取組が記載されています。**

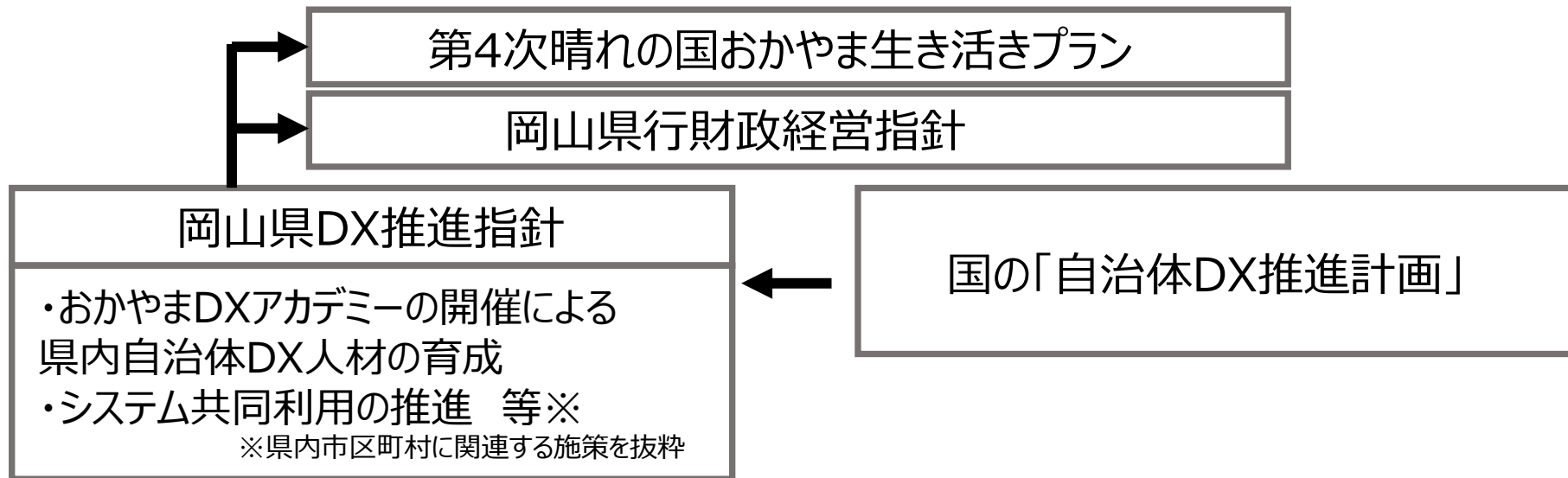
	重点取組事項
①	自治体フロントヤード改革の推進
②	地方公共団体情報システムの標準化
③	「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進
④	公金収納におけるeL-QRの活用
⑤	マイナンバーカードの取得支援・利用の推進
⑥	セキュリティ対策の徹底
⑦	自治体のAIの利用推進
⑧	テレワークの推進

	デジタル社会の実現に向けた取組み
①	デジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化
②	デジタルデバイド対策
③	デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直し

瀬戸内市では、「自治体DX推進計画 初版」を元に、令和3年度「瀬戸内市DX戦略方針」を策定し、令和3年度～7年度までの施策を計画し推進してまいりましたが、上記国の動向を踏まえ、令和8年度以降もDXを継続して推進するべく、「第2次 瀬戸内市DX戦略方針」を策定する必要があります。

# 県の動向

岡山県では、国の「自治体DX推進計画」を踏まえ、岡山県DX推進指針を令和8年3月に改訂し、また上位に位置付けられる計画・指針にも、DX推進を必須とした多くの計画が記載されています。



## 全国地方自治体の動向（参考）

全国の地方自治体のうち、その半数以上の自治体においては、独自に「DX戦略方針」を策定し、国の「自治体DX推進計画」や県等の総合計画や各種DX施策と連動した様々な計画を推進しています。

前述の国の「DX推進計画」においては、県等とのシステム共同化や標準化に向けた取組を施策に含めており、国だけでなく、県等の動向を踏まえ、かつ独自の戦略を含めた「第2次 瀬戸内市DX戦略方針」を策定する必要があります。

# 本市の動向

令和8年4月、瀬戸内市では、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」を最重要施策に掲げるとともに、市長が掲げる「イキイキ瀬戸内市」の中で、以下の項目について各所属で取り組んでおります。

## 1. 行かなくて良い市役所の実現

- ・窓口業務のうちオンライン申請化できる業務は原則として全てオンライン申請化

## 2. 職員数が2割減少しても（※）業務継続するための組織づくり

- ・BPRによる業務フローの見直し
- ・AIを活用した業務の効率化

「第2次 瀬戸内市DX戦略方針」では、上記内容を実現するためのDXの取組みを策定する必要があります。

※2045年に市の人口が2割減少することを想定したもの

# 戦略の基本理念

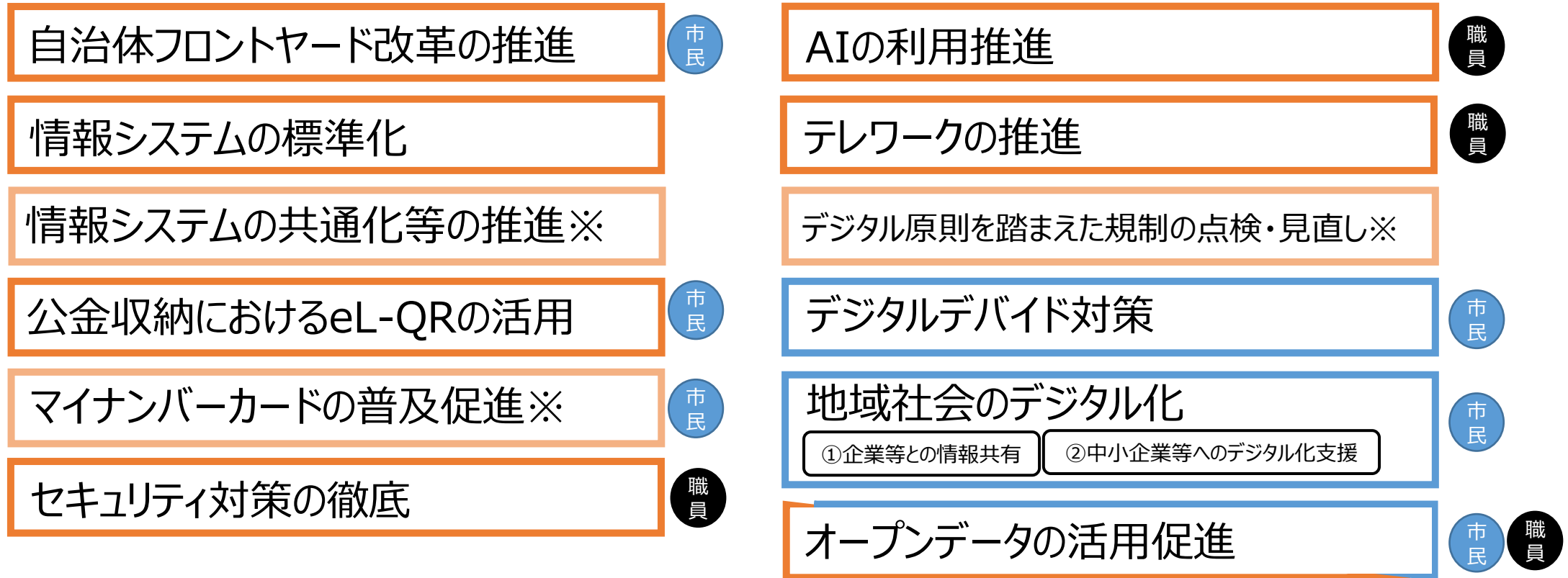
本戦略を一過性ではなく継続できる活動とするために、市民にとっても職員にとってもより良い未来の実現に向けて、「第1次 瀬戸内市DX戦略方針」を一部継承し、以下のとおり基本理念を定めます。

## 豊かな未来を創造する、デジタル化（DX）推進都市を目指して

- これまで進めてきたフロントヤード改革の推進について、市民にとっての利用しやすさを考え、多くの市民が利用したくなる仕組みを検討します。
- 市民と自治体がデジタルでつながる機会やサービスを創出し、市民にもデジタルが身近になるような環境づくりを目指します。
- 市民も、自治体職員も、楽しくデジタルを学べるような場づくりや情報発信に努めます。
- 瀬戸内市の課題にフィットしたデジタル化（DX）を進めるため、トライアンドエラーを繰り返すことで、本当に利用され、喜ばれる仕組みづくりを目指します。

# 第2次 瀬戸内市DX戦略方針の構成

基本理念に基づき、瀬戸内市のDX戦略方針は以下のとおりです。



※情報システムの共通化等の推進、マイナンバーカードの普及促進、デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直しは国および県等の状況を踏まえて対応方針を決定していきます。

# 第2次 瀬戸内市DX戦略 ～対応方針～ (1/2)

戦略（施策）	対応方針
自治体フロントヤード改革の推進	市が目指す「フロントヤード」について、現在の「書かない窓口」や行政手続きのオンライン化の拡大、データ連携自動化、手続きの簡素化等考えられる取り組みを検討し、最適化を図ります。
情報システムの標準化	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、R7年度までに国の標準仕様に準拠したシステムに移行しました。R8年度以降は国の標準仕様改訂に合わせてシステム改修を行います。
情報システムの共通化等の推進	国が構築し提供する共通システムの活用を検討します。また、市民の利便性向上や費用削減を図るため、県や、他の地方公共団体との共同利用を行うシステムの検討を行います。
公金収納におけるeL-QRの活用	地方税以外の公金へのeL-QR導入の検討を開始し、実装します。これによりキャッシュレス納付を推進するとともに、利便性の向上を図ります。
マイナンバーカードの普及促進	国や県と連携し、マイナンバーカードの取得支援と普及促進に取り組みます。具体的には、カードを利用する行政手続きの拡大を図る他、カードの利便性等に関する普及啓発を行い、市民の利活用を促進します。
セキュリティ対策の徹底	R8年度から本格運用する本市情報セキュリティ対策実施手順に則り、情報セキュリティ対策の強化及び適正な運用を行います。また、職員研修や監査により職員の意識向上とセキュリティ対策を徹底します。
AIの利用推進	これまでのAI利用に加え、市の業務において今後AI利用が有効となり得る業務を検討し、AIの活用拡大を図ります。あわせて、安全に利用できるAI環境や運用ルールを定め、AIの活用拡大を下支えする仕組みを構築します。

## 第2次 瀬戸内市DX戦略 ～対応方針～ (2/2)

戦略（施策）	対応方針
テレワークの推進	これまでに定着化してきたテレワークについて、さらなる活用を進めるための環境づくりを検討します。具体的には、テレワークで対応できる業務やフローの再設計など、今後もテレワークを継続的に推進し、柔軟な働き方の実現や行政機能の維持を図ります。
デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直し	書面や対面を前提としたアナログ規制について、業務内容や法令の調査検討を行いデジタル技術の進展等を踏まえた見直しを行います。これにより、現場の人手不足解消や生産性向上、社会のデジタル化を推進します。
デジタルデバйд対策	「誰一人取り残されないデジタル化」を目指し、利用者目線の情報発信やニーズに応じた市民へのスマホ教室等の各種研修を行うことで、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる環境を実現します。
地域社会のデジタル化 -企業等との情報共有-	市と地域企業・医療機関・自治会等との間で行われている情報共有についてオンライン化を拡大し、迅速に情報共有できる環境を構築し、双方の業務効率化を目指します。
地域社会のデジタル化 -中小企業等へのデジタル化支援-	商工会やR9年2月に完成するビジネス支援センターと連携し、地域企業向けにDX/IT関連の勉強会・相談会を実施することで、企業のデジタル化を推進し、生産力の向上や競争力強化を図り地域経済の活性化を目指します。
オープンデータの活用促進	「おかやまオープンデータカタログ」「せとうちデジマップ」等を利用して、市が保有しているデータのオープン化を進めます。利用者ニーズに基づくデータの公開を進めるほか、民間での利活用を促進します。

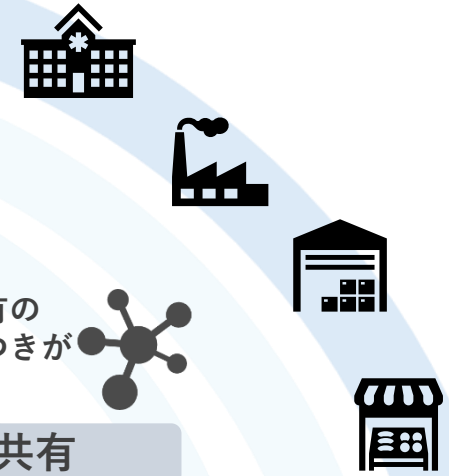
# 目指すDX戦略のイメージ



人が集い、手取りが増える  
まちづくりを、共に

市民

中小企業  
関係団体



オンライン申請の種類/件数の拡大や手続きの簡素化等を行うことで書かない/行かない窓口を実現し、市民サービスを  
**“よりスムーズに、よりスマートに”**

フロントヤード改革の推進

地域企業/医療機関/自治会等と情報共有のオンライン化を拡大し、地域との結びつきが  
**“より円滑な地域連携を”**

企業・関係団体との情報共有



eL-QR等が利用可能な支払い業務を拡大し、  
**“いつでも/どこでも/さまざまな方法で”**  
納税/決済ができる利便性を

公金収納のデジタル化

商工会とも連携し、地域企業向けにDX/IT関連の勉強会・相談会を実施し、地域企業を  
**“より強く/稼げる企業に”**

中小企業・地域産業のデジタル化支援



効率性/合理化 — 安全/安心

をバランスよく



AIを単なるツール導入に留めず、セキュリティ/工数削減を意識した上で実務への浸透を図り、  
**“行政と市民サービスに改革を”**

AI活用による業務効率化

セキュリティールの本格運用を開始し、業務の確実な遂行とともに、AI活用やオンライン申請を  
**“安全/着実に推進できる基盤を整える”**

セキュリティ強化・対策の徹底

おかやまオープンデータカタログやせとうちデジマップの掲載を充実させ、  
**“行政データを地域のアイディアに”**

オープンデータの充実・活用促進



# 全体戦略スケジュール

R12年度までのDX戦略推進項目とスケジュールを示します。

新たな項目の実施にあたっては、実証実験（パイロット導入）とトライアンドエラーを繰り返し検証の上、導入します。

凡例： 戦略室 共同 原課 トライアンドエラー

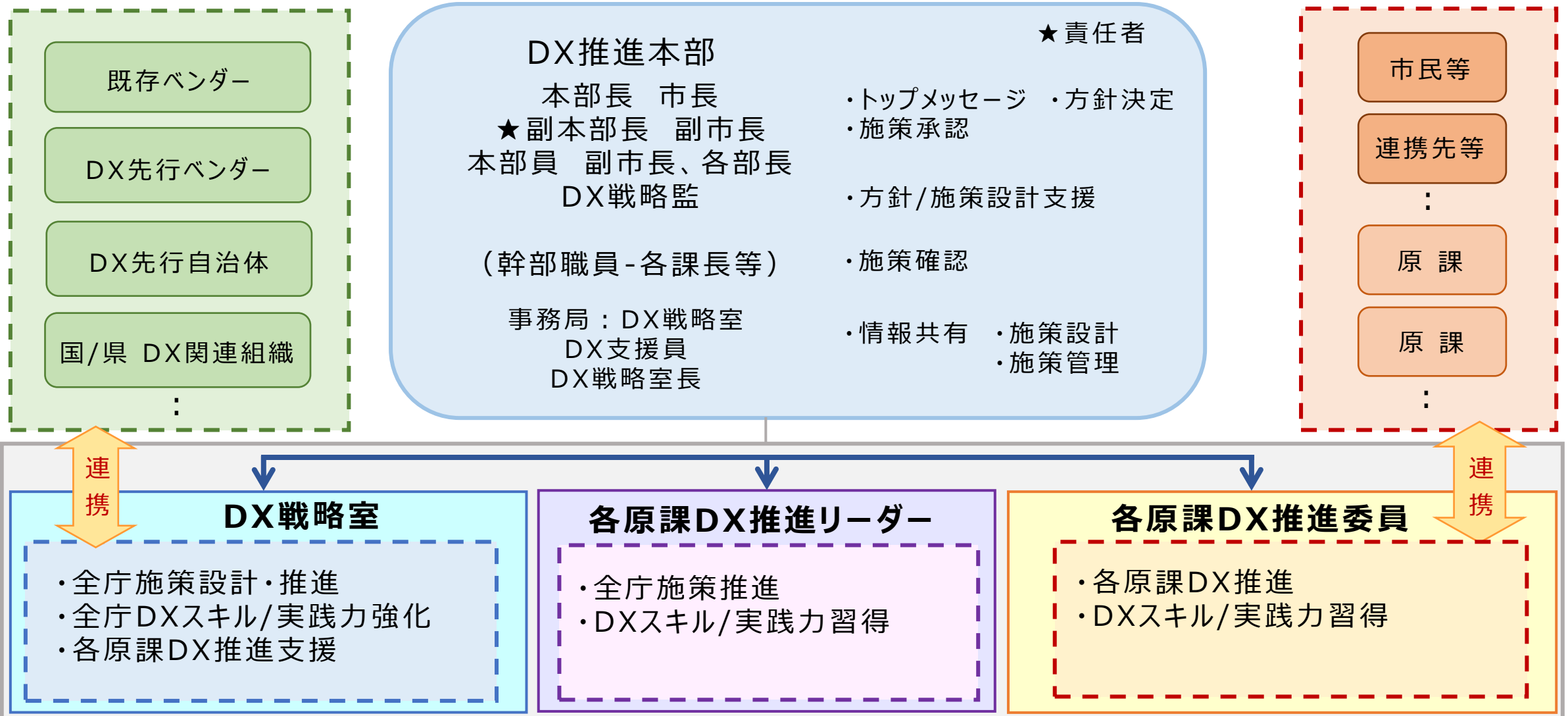
戦略推進項目	R8年度		R9年度		R10年度		R11年度		R12年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
自治体フロントヤード改革の推進	調査深堀・取組検討		順次見直し・稼働							
情報システムの標準化	生活保護標準化対応		標準仕様書改訂分の標準化システム改修対応（改定時）							
情報システムの共通化等の推進	調査検討		検討結果に基づき、順次新システム利用/既存システム改修対応							
公金収納におけるeL-QRの活用	調査/取組検討/推進計画		推進計画に基づき稼働							
マイナンバーカードの普及促進	普及促進活動									
セキュリティ対策の徹底	運用ルールに則ったセキュリティ遵守対応									
AIの利用推進	調査検討	見直し 実証実験	見直し		見直し		見直し		見直し	
テレワークの推進	未利用者への浸透・対応業務の拡大									
デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直し	課題調査・見直し検討		必要に応じて順次見直し							
デジタルデバイド対策	取組検討	スマホ教室等	取組検討	スマホ教室等	取組検討	スマホ教室等	取組検討	スマホ教室等	取組検討	スマホ教室等
地域社会のデジタル化	企業等との情報共有		R7作成システムの展開 課題調査・取組検討		順次取組の実施/浸透・拡大（必要に応じて、実証実験も実施）					
	中小企業等へのデジタル化支援		調査/推進計画		順次取組の実施（勉強会・相談会・その他の取組等）					
オープンデータの活用促進	ニーズ調査	パイロット トライアンドエラー	順次公開データの追加・更新							

# R8年度 DX戦略について

R8年度 DX戦略についてご説明します。

# R8年度 DX戦略推進体制

R8年度も、本体制については継続させ、全庁でDXスキル/実践力を底上げし、取組みの浸透・拡大が行えるようにします。



# DX推進リーダー/推進委員の役割について

全庁挙げたDX推進を行うため、DX推進リーダーの選定方針、DX推進委員の対応方針を改めました。  
以下に、DX推進リーダー/推進委員の役割について示します。

役割	設置目的	選定/対応方針
DX推進リーダー	本役割は、全庁的なDX推進を実現するため、各所属業務のDXを主導し、業務改善と効率化を図ることを目的とする。 DX戦略方針に示すR8年度DX戦略重点施策について、必要に応じて、意見交換や協議を行う。	<選定方針> 各所属の所属長を任命。  <対応方針> 全庁DX施策スケジュールに基づき、全庁的に推進するプロジェクトへの打合せや検討会等に適宜参加する。
DX推進委員	本役割は、全庁でDXスキル/実践力を平準化するにあたり、各課業務のDXに向けた推進役を担う。	<選定方針> 課から1名選出。DXに関して興味があり、自らアプリ構築や業務フローの見直しなどのアイデアが考えられる人材を推薦願う。アプリ構築は未経験でも可。  <対応方針> DX推進委員だけでなく、DX推進リーダーに相談の上、他の職員も巻き込んでDX推進に割り当てることとする。

# R8年度 DX戦略重点施策

第2次DX戦略方針を実現するために今年度の重点施策を以下の通りとします。

## 1. フロントヤード改革の推進

・自治体フロントヤード改革の推進

・地域社会のデジタル化 ①企業等との情報共有

R6年度に実施した「フロントヤード調査」を元に、各窓口業務の業務効率化と最適化を目指した取り組みを全庁で推進する。昨年度導入した「**オンライン予約**」「**補助金オンライン申請**」等を活用し、さらなる「フロントヤード改革」を目指す。

## 2. AIの活用業務の拡大の検討

・AIの利用推進

R6年度、BRIDGEに生成AI機能を追加した。今年度は、全庁的に各部署の業務でAIによる業務効率化および工数削減が実現できる業務および具体的な活用方法を検討する。また、AI技術の適用に伴うリスクを考慮し、利用にあたって市の定めるガイドラインに沿った運用を徹底する。

## 3. システム標準化の完遂とセキュリティ運用の徹底

・セキュリティ対策の徹底

・情報システムの標準化

R7年12月に移行が完了した「**システム標準化**」については、残る生活保護業務についても確実に完遂できるよう進捗管理を徹底する。また、昨年度策定、公開した「**情報セキュリティポリシーによる運用ルール**」を徹底し、安全な運用体制の実現を目指す。

## 4. 地域DXニーズ調査の実施

・地域社会のデジタル化 ②中小企業等へのデジタル化支援

・オープンデータの活用促進

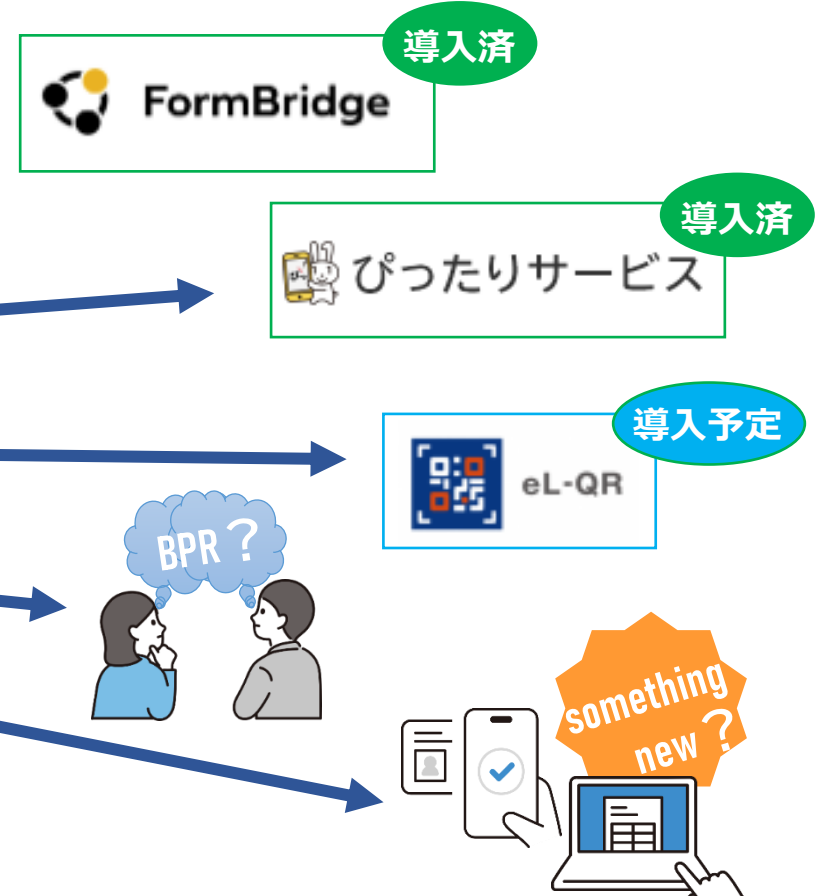
R9年2月に新設されるビジネス支援センター、市商工会、成長戦略部と連携し、中小企業が求めているデジタル化支援のニーズ調査を行い仕組みを検討する。

# 重点施策詳細 (1)

## 1. フロントヤード改革の推進

R6年度に実施したフロントヤード業務（瀬戸内市では、対相手が存在する業務をフロントヤード業務と定義）調査の深堀を行い、業務ごとに「オンライン申請化するもの」や「アナログ申請のBPRが必要なもの」などの判別を実施します。また、オンライン申請化にあたっては、先進自治体の事例を参考にオンライン申請に必要なツールを検討し、市民の利便性と行政効率化を両立するフロントヤード改革を推進します。

担当部署	業務名	やり取りする相手	受付方法	受付頻度	受付件数	職員対応時間	平均滞在時間	対応可能日	本人確認	受付通知	手帳化の
DX戦略室	情報システムに関する問い合わせ	庁内	電話 オンライン	随時	500件以上	20~30分	なし	6人	無	有	有
DX戦略室	スマホ体験教室受付	市民	窓口 郵送 FAX オンライン	定期	100件未満	10分未満	なし	2人	無	有	無
DX戦略室	基幹系アカウント・指紋登録	庁内	オンライン	定期	50件未満	10分未満	なし	3人	無	無	有
DX戦略室	住民基本台帳ネットワークシステム操作権限付与	庁内	窓口	定期	10件未満	10分未満	なし	5人	無	無	無
DX戦略室	自設機管理業務	業者	窓口 郵送	随時	10件未満	10分未満	10分未満	2人	無	無	無
DX戦略室	電算室入室申請	業者 庁内	窓口 オンライン その他	随時	50件未満	10分未満	10分未満	6人	無	無	無
いきいき長寿課	障害者控除対象者認定書発行業務	市民	窓口 郵送	随時	100件未満	10分未満	10分未満	2人	有	無	無
いきいき長寿課	シルバーカード発行業務	市民	窓口 郵送	随時	50件未満	10分未満	10分未満	3人	有	無	無
いきいき長寿課	緊急通報装置貸与	市民 業者 その他	窓口 郵送 その他	随時	10件未満	10分未満	10分未満	2人	無	無	無
いきいき長寿課	配食による高齢者等見守事業	市民 業者 その他	窓口 郵送	随時	100件未満	10~20分	10~20分	2人	無	無	無



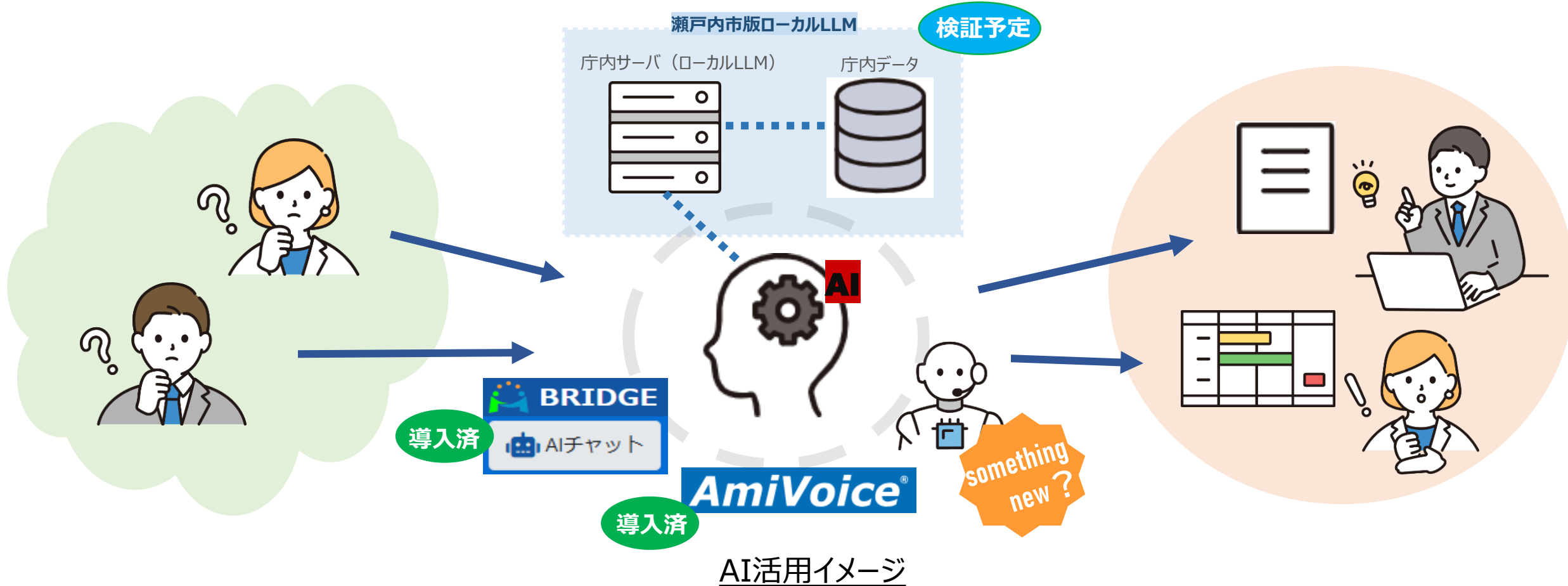
瀬戸内市「フロントヤード調査」アプリのイメージ

フロントヤード業務の改革アイデアイメージ

# 重点施策詳細 (2)

## 2. AIの活用業務の拡大の検討

生成AI等の研修や他市のAI活用の事例紹介、作業量が多く負荷の高い業務の調査を行い、全庁的に各部署の業務でAIによる業務効率化および工数削減が実現できる業務および具体的な活用方法を検討します。また、成長戦略部とDX戦略室でローカルLLM（※）実証実験を行い、AIの適用領域の拡大や効果測定を実施します。

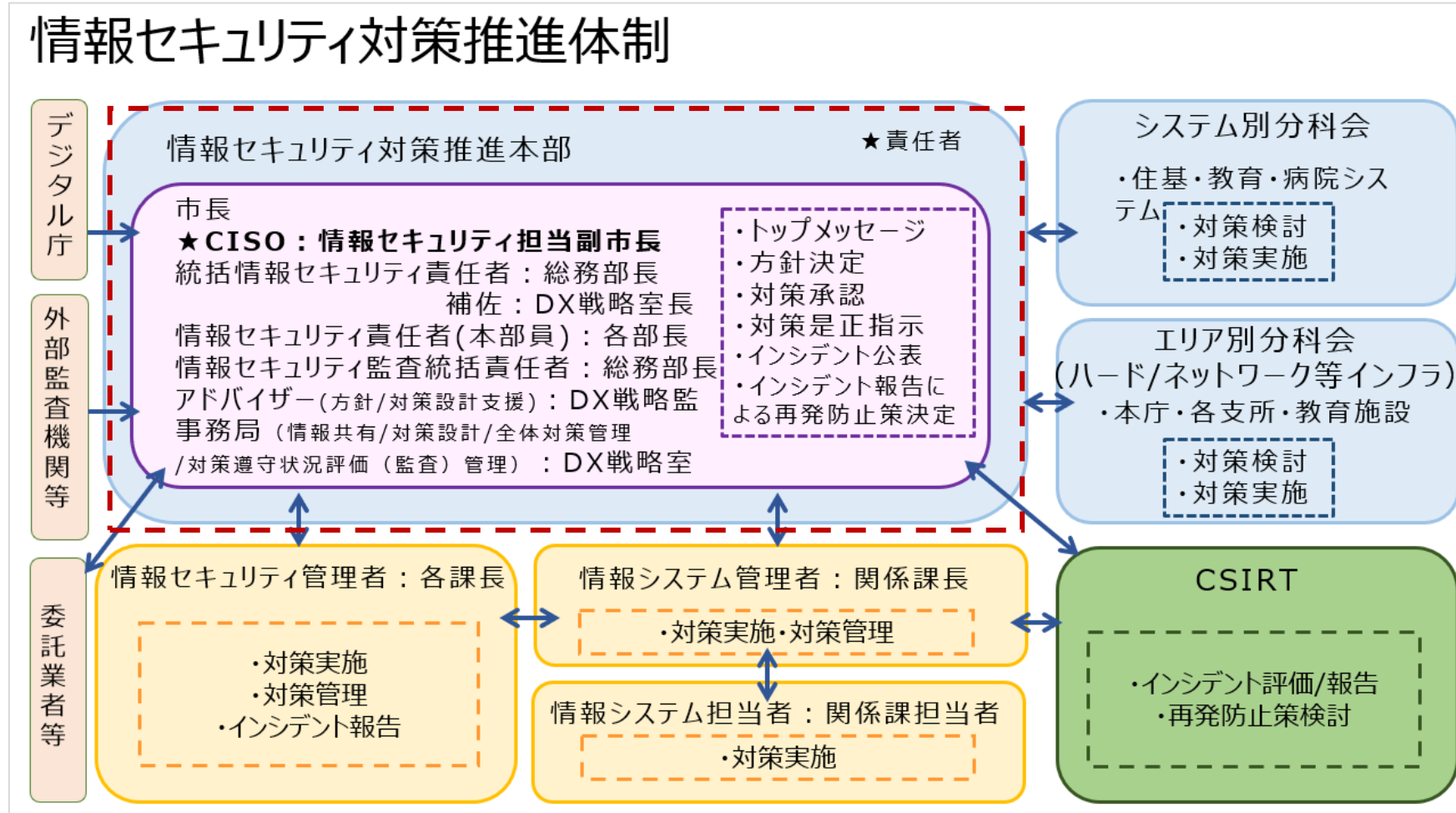


※ローカルLLM…専用端末で動作する大規模言語モデル（LLM）を指し、外部ネットワークと分離された安全性の高いAI技術

# 重点施策詳細 (3-1)

## 3. システム標準化の完遂とセキュリティ運用の徹底

R8年度から情報セキュリティ対策推進体制の運用を開始します。情報セキュリティ対策推進本部では、情報セキュリティポリシーの重要事項や方針決定を行うほか、情報セキュリティポリシー等の遵守状況を監視し情報資産の安全性を確保します。



瀬戸内市「情報セキュリティポリシー運用ルール」全体説明会資料より

# 重点施策詳細 (3-2)

## 3. システム標準化の完遂とセキュリティ運用の徹底

セキュリティ運用の徹底のため、R8年度から情報セキュリティ対策推進本部会議、情報セキュリティシステム別・エリア別分科会を開催します。システム別・エリア別分科会では、インシデント対応訓練を行います。また、昨年度策定した情報セキュリティポリシーの運用ルールについて、未共有の運用ルールを説明するとともに、職員全員が運用ルールの必要性や、ルールを遵守しないことによるリスクを理解するため、セキュリティルールの研修を企画します。

時期	会議名など	対象者	内容
7月	情報セキュリティ対策推進本部会議	情報セキュリティ対策本部員	・本年度方針決定、対策承認など
7月	情報セキュリティルール研修	全職員	・未共有の運用ルールの説明
8月	システム別・エリア別分科会	情報セキュリティ責任者 情報セキュリティ管理者	・本年度方針決定
9月	情報セキュリティルール研修	全職員	・運用ルール、セキュリティルールの説明
10月	システム別・エリア別分科会	情報セキュリティ責任者 情報セキュリティ管理者	・インシデント対応訓練
3月	情報セキュリティ対策推進本部会議	情報セキュリティ対策本部員	・年度総括
4半期に1度	セキュリティチェック	全職員	・セキュリティルールの遵守状況の確認

情報セキュリティ年間スケジュール案

各アイコンをクリックすると、対象アプリが別ページで起動します。  
(QRコードはインターネット系統取専用で、専用フォームへリンクします。内部系では接続できません。)

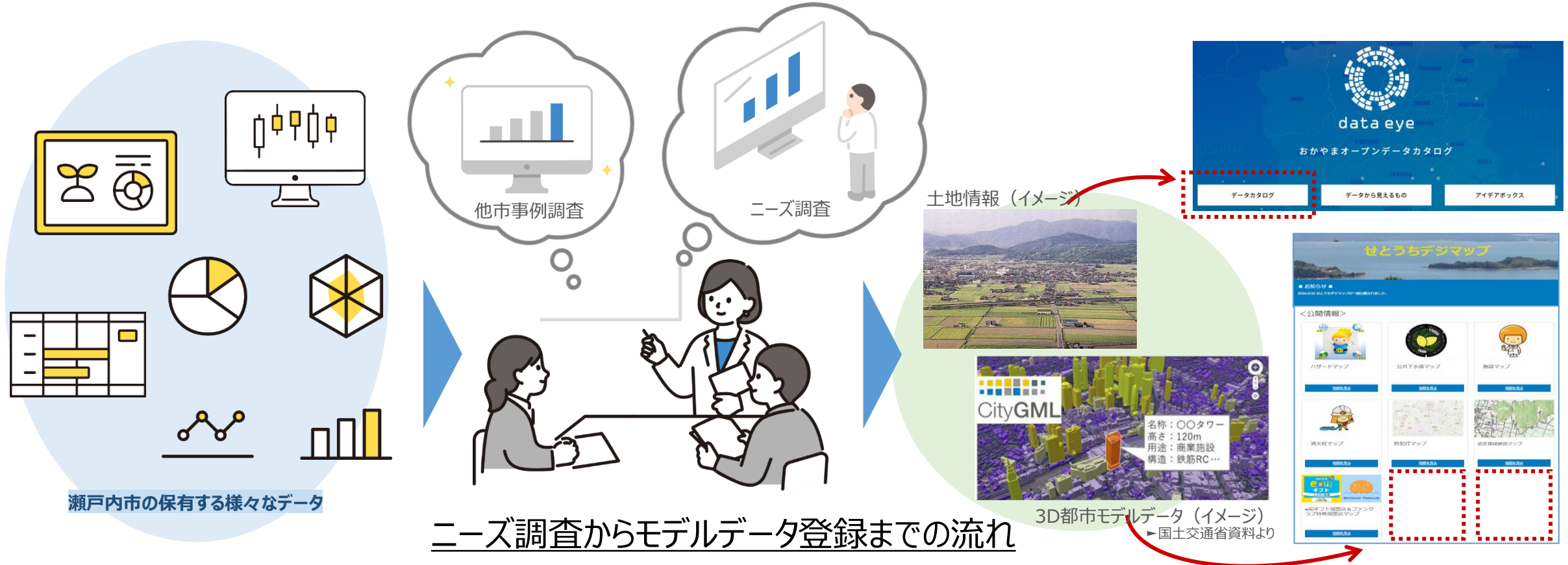
PC情報管理	業務用モバイル端末管理	USBデバイス情報管理	各種システム管理	情報システム 仕様書・見積書管理	BRIDGEモバイル利用 管理
		 運用フローはこちら		 運用フローはこちら	 運用フローはこちら
※PC端末の購入/移動/廃棄時に入力します。	※業務用モバイル端末の購入/移動/廃棄時に入力します。	※USBデバイスの購入/移動/廃棄時に入力します。	※各種システムの導入/更新/廃止時に入力します。	※情報システムの契約時(業者選定時)に登録が必要です。	※個人端末のBRIDGE外部利用申請時に登録が必要です。
長期保管媒体管理	可搬媒体利用管理	セキュリティクラウド 接続端末使用実績管理	USBデバイス等使用 実績管理	ロッカー・脇机等管理	フォーム/ビュー管理
	 運用フローはこちら	 運用フローはこちら	 運用フローはこちら		
※。	※媒体(CD/DVD/FD等)の利用時に都度登録が必要です。	※インターネット端末利用時に都度登録が必要です。	※USBデバイス等利用時に都度登録が必要です。	※。	※FormBridge/K/Viewerで作成時に登録が必要です。
EUC利用申請・管理	リモートメンテナンス 作業許可申請	基幹系システム アカウント管理	電算室指紋登録 ユーザー管理	住基ネット作業等 電算室入退室管理	電算室入退室管理
※。	※。	※各基幹系端末作業担当者の変更時に登録が必要です。	※DX勤務室/市民課の電算室作業担当者の登録が必要です。	※住基ネット日次作業時に登録が必要です。(市民課専用)	※業者/職員に関わらず電算室入室前に登録が必要です。

業務ポータルセキュリティ対策管理スペース

# 重点施策詳細 (4)

## 4. 地域DXのニーズ調査の実施

中小企業/地域産業のデジタル化に関する課題や必要な支援のニーズを調査し、地域企業向けにDX/IT関連の勉強会・相談会を計画(※1)します。また、市が保有しているデータのオープン化を進めるため、先進的な公開を行っている他市の公開データから企業等が求めているデータを調査するとともに、作成手順確立のためのモデルデータ(※2)を登録します。



※1 内容および対応時期についての計画

※2 ニーズ調査の結果をもとに反映するデータ及び建築住宅課との連携による3D都市モデルデータを予定しています。

# R8年度 DX人材育成計画


R8年度のDX人材育成に向けた研修案を以下に示します。重点施策と連動させながら、人材育成計画を推進します。

研修名案	対象者	研修内容	実施予定時期/頻度
フロントヤード検討会 <b>New</b>	DX推進リーダー DX推進委員	フロントヤード改革のために、業務改善のために利用するツール・手段（オンライン申請、ぴったり、アナログBPR）の検討、事例の共有を行う。	第1回：8月7日 第2回：10月30日
eL-QR検討会（※） <b>New</b>	DX推進リーダー DX推進委員	地方税以外の公金収納のうち、eL-QRの対象とする手数料の検討を行う。	第1回：10月30日
AI活用研修会 <b>New</b>	希望職員	効果的なAIの使い方、他市や庁内の事例紹介を行う。	年間開催計画を立てた上で別途案内
デジタルツール操作研修会	希望職員	導入済みデジタルツールの操作研修を行う。	同上
DX推進テーマ報告会 <b>Update</b>	幹部職員/DX推進 リーダー/DX推進委員	市でのDX取組と成果について発表。	令和9年3月12日

※ 重点施策ではないが、今年度から検討を開始するため実施

# R8年度 その他人材育成計画

その他の研修案を以下に示します。DX人材育成計画と共に重点施策と連動させながら、人材育成を推進します。

研修名案	対象者	研修内容	実施予定時期/頻度
見積・仕様書適正化に向けた研修会	各課所属長 見積・仕様作成担当者	仕様書/見積書に含める項目について研修を行う。	年間開催計画を立てた上で別途案内
情報セキュリティルール研修会 	職員全員 情報セキュリティ担当職員	情報セキュリティの必要性・情報セキュリティ運用ルール・運用手順について研修を行う。	第1回：7月17日 第2回：9月25日

# R8年度 DX戦略概要スケジュール

以下にR8年度 DX戦略重点施策の概要スケジュールを記載します。

重点施策	R8年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9年 1月	2月	3月	
イベントほか		★本省会		★推進リーダー・推進委員 検討会 ★情報セキュリティ システム別・エリア別会議		★当初予算化 ★推進リーダー・推進委員 検討会 ★情報セキュリティ システム別・エリア別会議				★本省会	★DX推進テーマ 報告会 ★情報セキュリティ 対策推進本省会議	
	デジタルツール 操作研修会：定期的に、各種ツールの研修会を実施											
フロントヤード改革 の推進		フロントヤード事例調査		庁内調査		調査内容分析		フロントヤード業務に対する手段再検討		再検討した手段の実装		
				オンライン予約・補助金オンライン申請 稼働準備		オンライン予約・補助金オンライン申請稼働開始						
AIの活用業務の拡大 の検討			業務調査		AI活用の 仕組み検討		AI活用の試行 AI活用研修会		AI活用の 効果測定		課題整理および来年度 施策策定	
		ローカルLLM 実証実験 企画・環境準備		ローカルLLM 実証実験					実証実験 効果測定		課題整理および来年度 施策策定	
システム標準化の完 遂とセキュリティ運用 の徹底	システム標準化：R8年度1月本番移行に向けて、計画通り推進を行う								★本稼働			
	情報セキュリティポリシー遵守★情報セキュリティ研修会 ★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>				★情報セキュリティ研修会 ★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>				★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>		遵守状況評価 来年度施策策定 ★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域DXニーズ調査 の実施						中小企業に必要な ニーズ・課題調査		調査まとめ		勉強会・研修会計画策定		
					オープンデータ 他市調査	オープンデータ 登録対象データ選別		オープンデータ モデルデータ登録			★ビジネス支援センター竣工	

# R7年度 DX戦略活動報告

R7年度 DX戦略についてご報告します。

# R7年度 DX戦略重点施策

R3年度に策定したDX戦略の集大成（一区切り）として、昨年度の重点施策を一部更新して継続し、成果を拡大させます。

## 1. フロントヤード改革の推進

昨年度実施した「フロントヤード調査」を元に、各窓口業務の業務効率化と最適化を目指した取り組みを全庁で推進する。既存の仕組みに加え、「**オンライン予約**」「**オンライン相談**」等の導入により、瀬戸内市が目指す「フロントヤード改革」を完成させていく。

## 2. アナログとデジタルの逆転に向けた庁内全体のスキルアップ

昨年度実施した役職級別向け「課長級研修」等については、**職員の必須スキルと位置づけ、人事部門と連携し研修を企画する**。DXを「必要ない」「関係ない」「困っていない」とする意識を改革し、若手人材等が「デジタルで置換可能なアナログ作業」による手間や精神的負担を抱えない風土づくりを目指す。

## 3. 導入済み基盤/サービスの浸透・拡大

R5年度までに導入済みの市民/業者向けサービス各種基盤（「ぴったりサービス」「書かない窓口」「公開型GISせとうちデジマップ」「LINE連携含むAIチャットボット」「電子契約」等）に加え、「**キャッシュレス決済**」の活用定着化および利用浸透・拡大と「**支払・電子請求**」の運用再開に向けた施策を講じる。

## 4. システム標準化の完遂とセキュリティ運用の徹底

**R7年12月**が本番移行となる「**システム標準化**」については、確実に完遂できるように進捗管理を徹底する。また、昨年度改正された「地方自治法」で示された「地方公共団体はサイバーセキュリティ確保の方針を定める」義務の新設を受け、「**情報セキュリティポリシーによる運用**」の徹底を目指す。

# R7年度 DX戦略概要スケジュール

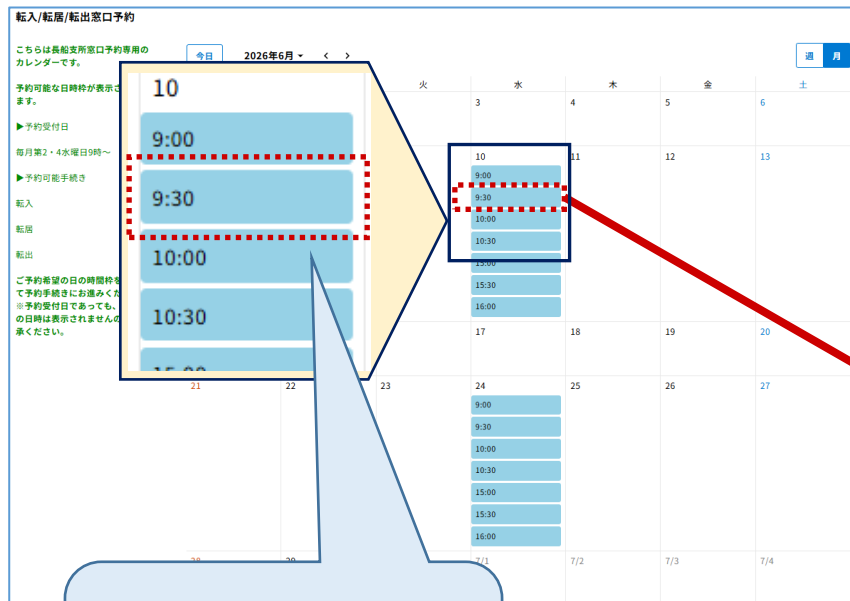
以下にR7年度 DX戦略重点施策の概要スケジュールを記載します。

凡例:  計画  実績

重点施策	R7年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年 1月	2月	3月
イベントほか	★本国会	★推進リーダー検討会 ★推進委員検討会		★推進リーダー検討会							←第2次DX戦略方針策定→
フロントヤード改革の推進	契約準備		システム設計・開発・テスト						試行運用・調整		★国保後期人間ドック本稼働
庁内全体のスキルアップ -各種協議 -各種研修	各原課業務の改革：昨年度調査した業務の改善案をブラッシュアップし、今年度中に随時稼働させる										
	フロントヤード改革の実行推進：DX推進リーダー/委員については、推進会議という形で、上記改革の推進検討を担う										
	DX人材育成の推進：人事部門との連携により、役職別研修を実施										
導入済み基盤/サービスの浸透・拡大	★生成AI導入										
	デジタルツール 研修会：定期的に、各種ツールの研修会を実施										
推進中プロジェクトの完遂とセキュリティ運用の徹底	★総務課主催マネジメント研修										
	★各種ツール研修（計6回）										
導入済み基盤/サービスの浸透・拡大	昨年度実績調査	課題再整理と課題発生要因の洗い出し		対策検討	★対策実施						
	運用にて評価、随時改善										
推進中プロジェクトの完遂とセキュリティ運用の徹底	★支払・電子請求のデジタル化一部停止										
	★施策実施（チラシ）										
推進中プロジェクトの完遂とセキュリティ運用の徹底	システム標準化：R7年度12月本番移行に向けて、計画通り推進を行う										
	★本稼働										
推進中プロジェクトの完遂とセキュリティ運用の徹底	情報セキュリティポリシー 実施手順作成										
	環境準備：運用に必要な環境準備、研修等										
	★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>			★遵守 <input checked="" type="checkbox"/>			★全体説明会			★担当者説明会	

# 1. フロントヤード改革の推進 (1/2)

8月にDX推進委員に「オンライン予約・補助金申請を利用する業務」のヒアリングを行い、DX推進リーダーと「オンライン予約・補助金申請に必要な機能」について、検討を行いました。その内容を踏まえ、各部署で汎用的に使えるよう共通的な機能を含めた『オンライン予約アプリ』『補助金申請アプリ』を作成しました。さらに、以前から原課から要望のあった『人間ドックオンライン申請アプリ』を作成しました。



予約枠を選択すると  
申請フォームへ遷移

以下、予約される方の情報を入力してください。

【個人情報の取扱いについて】  
このフォームにてご予約いただいた方の個人情報は、以下の目的のために必要な範囲で利用させていただきます。  
<利用目的>  
・予約に関する連絡（予約確定、中止連絡、その他連絡等）のため

氏名 \* フリガナ \*

電話番号 \*

メールアドレス \* メールアドレス\_確認用 \*

確認

オンライン予約申請ページイメージ

日付 Y 時間	9:00	9:30	10:00	10:30	15:00	15:30	16:00
6月8日(月)							
6月9日(火)							
6月10日(水)	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する
6月11日(木)	予約枠を確保する	予約済	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する	予約枠を確保する
6月12日(金)							

予約枠を確保する

予約済

予約が入った枠は  
「予約済」へ自動変更

庁内用予約管理アプリイメージ

**R8年度では、上記アプリおよび機能を含めた活用を進め、フロントヤード改革のさらなる推進を行う予定です。**

# 1. フロントヤード改革の推進 (2/2)

利用者	内容	実績数	昨年度（前回報告）状況
市民	オンライン申請件数	オンライン申請種類 <b>94種類</b> （建設課 7 種類、総務課 5 種類など） オンライン申請件数 <b>5,991件</b>	56種類 3,114件

## 令和 7 年度に稼働した主なオンライン申請業務例

業務名	担当課	概要/特記事項
職員採用試験受験申込	総務課	インターネットからの申込/申込管理
地下埋設確認協議書申込	下水道課、上水道施設課	業者からの地下埋設確認申込/申込管理/回答
国保・後期人間ドックオンライン申込	国保年金医療給付課	インターネットからの申込/申込管理/日程自動振分
ひとり親等放課後児童クラブ利用料減免支援補助金申込	こども家庭課	マイナンバーカードを使用した本人確認/インターネットからの申込/申込管理
（ぴったりサービス）戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求申込	福祉課	マイナンバーカードを使用した本人確認/インターネットからの申込/申込管理

## 2. 庁内全体のスキルアップ（人材育成計画）

R7年度のDX人材育成研修の実績を以下に示します。重点施策と連動させながら、人材育成計画を推進いたしました。

研修名案	対象者	研修内容	実施日/参加実績
総務課主催マネジメント研修 <b>New</b>	管理職職員 (部長、課長、課長補佐) 係長級職員	管理職として組織目標を達成するためにマネジメントに関する共通認識を深める。	10/8 対象者:206名 欠席者:11名
DX推進リーダー向け検討会	DX推進リーダー	フロントヤード改革を行うにあたり、必要な機能について検討を行う。	6/11,8/29 対象者:12名 全回欠席者:なし
DX推進担当向け検討会	DX推進委員	フロントヤード改革を行うにあたり、対象とする業務について検討を行う。	6/23 対象者:38名 欠席者:8名
デジタルツール研修	希望職員	導入済みデジタルツールの操作説明。	P13参照
伴走型個別勉強会：各課別で、各課につき2回～4回実施	希望課	個別の業務システムを伴走型で作成。	随時実施
DX推進テーマ報告会	幹部職員/DX推進リーダー/DX推進委員	市でのDX取組と成果について発表。	3/14 市長・副市長参加 現地20名/オンライン40名参加

## 2. 庁内全体のスキルアップ（気軽に参加できる定期的な研修企画）

R6年度にチャットのオフトピックにて行った「知りたいツール 総選挙」アンケートで希望が多かった「RPA研修」をDX戦略室 職員が実施。また「業務ポータル・AIチャットのユーザー会」を行い、気軽にスキルアップできる機会をすることで、導入済み基盤/サービスの浸透を図りました。

### 10/28 RPA研修会

～業務ポータル（kintone）ユーザー会～

8/5 第1回 ユーザー会  
12/22 第2回 ユーザー会  
2/24 第3回 ユーザー会

～AIチャット ユーザー会～

10/2 第1回 ユーザー会  
11/18 第2回 ユーザー会



### 研修マニュアル・ユーザー会資料イメージ

#### 【研修参加状況】

- ・ 会場参加 延べ50名
- ・ オンライン参加 延べ14名

**計64名 参加**

【研修マニュアル】各ツールフォルダの中に研修会資料を格納

[http://carbon3010.rcloud3.asp.lgwan.jp/rashin\\_gw\\_setouchi/gw/Modeless/1600/Detail/LEVEL\\_SEQ%3D215%26FILE\\_FG%3D0](http://carbon3010.rcloud3.asp.lgwan.jp/rashin_gw_setouchi/gw/Modeless/1600/Detail/LEVEL_SEQ%3D215%26FILE_FG%3D0)

# 3. 導入済み基盤/サービスの浸透・拡大 (1/2)

庁内での導入済み基盤/サービスの浸透・拡大だけでなく、市民への情報発信を充実させることが必要不可欠として下記のチラシを配布しました。

**瀬戸内市デジタル化の取組について**

安心をカタチに。ハザードマップを確認しましょう

**せとうちデジマップ**

地域のハザードマップや避難所情報、AED設置場所などを確認することができます。

表示は地図に加えて、より直感的にわかる航空写真にも切り替えが可能です。パソコン・スマートフォンから簡単にアクセスできるので、外出先やご家庭でもご覧いただけます。

ご自身やご家族の安全を守るために、ぜひ一度チェックしてみてください。

お問い合わせ | 瀬戸内市総務部 DX戦略室  
TEL.0869-24-7567 FAX.0869-22-3304  
Email:dxxsenryaku@city.setouchi.lg.jp

## ↓ 導入済みサービス

**その他のサービスについて**

- 1. 市公式LINEサービス**  
市からのお知らせやイベント情報を配信しています。受信設定で知りたい情報を選択可能で、問い合わせ内容に自動で答えるチャットボット機能などがあります。ぜひ友だち追加してご利用ください。
- 2. オンライン申請**  
パソコン・スマートフォンからオンラインで各種手続きが可能です。電子申請が可能な主な手続きの申請フォームへのリンク先一覧は右記のQRコードからご確認ください。
- 3. ごみ分別アプリ**  
スマートフォン向け「ごみ分別アプリ さんあ〜る」を配信しています。ごみ収集日を表示・通知する機能や、ごみ分別帳による分別方法の検索、よくある疑問のQ&Aを掲載しています。ぜひダウンロードしてご利用ください。
- 4. 書かない窓口**  
瀬戸内市への転入、瀬戸内市からの転出、瀬戸内市内の転居の手続きの際は、事前にパソコン・スマートフォンから必要事項を入力すると、窓口提示用のQRコードが作成されます。作成されたQRコードを市役所窓口でご提示いただくことで、窓口での手続きが簡単になります。

一般向け	
申請内容	担当部署
職員採用試験受験申込	総務課
防犯灯不具合報告フォーム<外部リンク>	危機管理課
修繕・定住相談受付<外部リンク>	地域振興推進課
空き家登録申込<外部リンク>	地域振興推進課
空き家情報利用登録<外部リンク>	地域振興推進課
お話し先予約<外部リンク>	地域振興推進課
特定健診(集団健診・ワゴン健診)<外部リンク>	国民年金医療給付課
犬登録申請<外部リンク>	生活環境課
がん検診予約<外部リンク>	健康長寿課
妊娠届出時アンケート<外部リンク>	こども家庭課
妊娠8か月アンケート<外部リンク>	こども家庭課
道路狭小解消システム<外部リンク>	建設課
職員派遣依頼<外部リンク>	消防本部警防課
救命講習等受講の申し込み<外部リンク>	消防本部警防課
水道使用開始手続き<外部リンク>	水道課
水道使用中止手続き<外部リンク>	水道課
最久自然教育の森キャンプ場利用申請<外部リンク>	社会教育課
スポーツ施設予約利用予約<外部リンク>	社会教育課

事業者向け	
申請内容	担当部署
優良販売予約受付	総務課
電子契約利用申込<外部リンク>	契約管理課
電子請求利用申込<外部リンク>	DX戦略室
電子請求書作成フォーム<外部リンク>	DX戦略室
交通規制申請システム<外部リンク>	建設課
防災消防訓練通知書<外部リンク>	消防本部警防課
水道使用開始・使用中止届出<外部リンク>	水道課
排水設備設置等承認申請<外部リンク>	下水道課
下水道排水設備指定工事実施要領<外部リンク>	下水道課
瀬戸内市下水道排水設備指定工事実施要領(新規・更新)<外部リンク>	下水道課

## HP掲載オンライン申請一覧

### 【案内状況】

市防災訓練：令和8年11月8日配布

配布数：イベント参加者350部

その他の案内：本庁・支所・出張所にチラシ設置

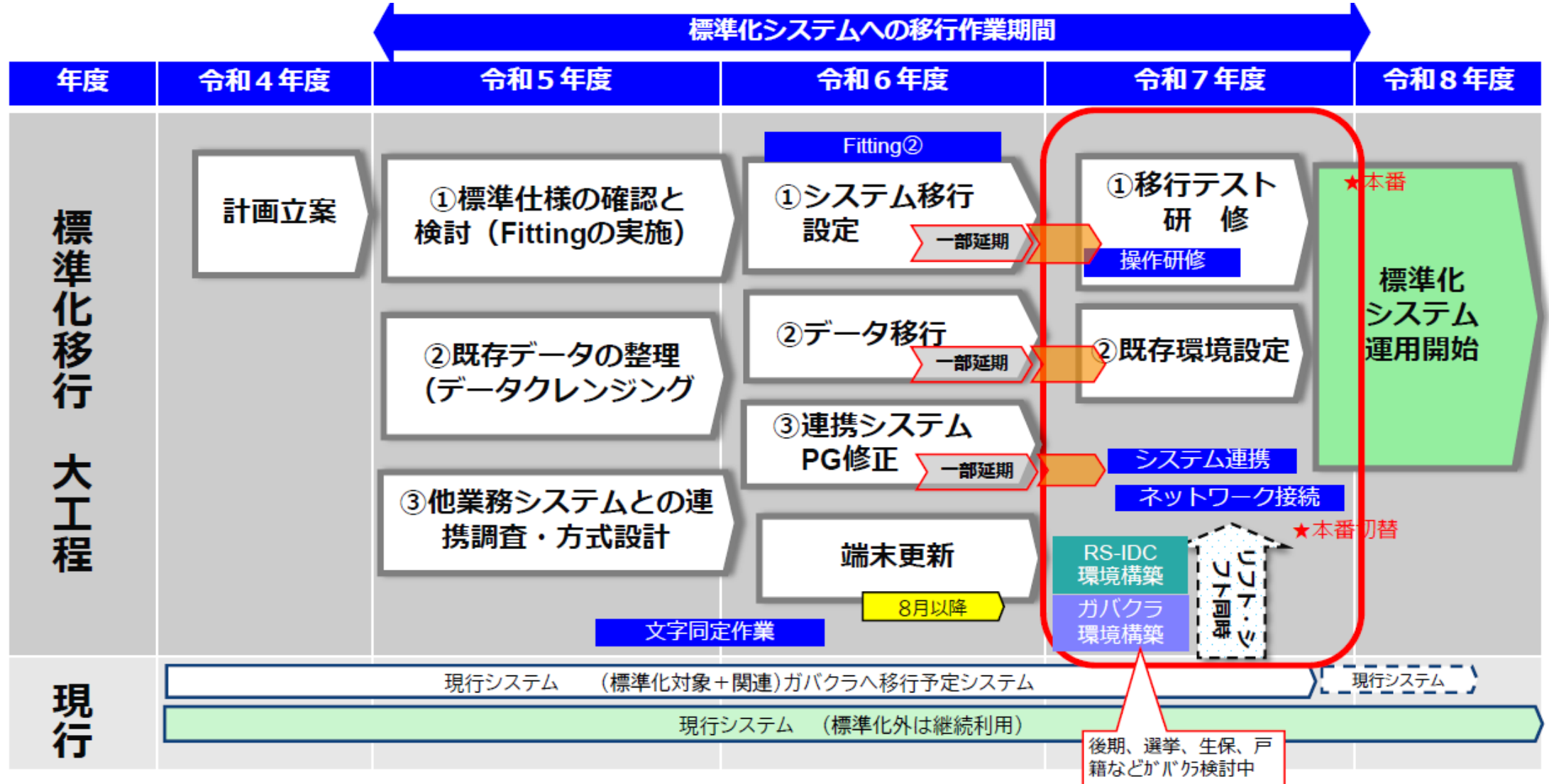
瀬戸内市デジタル化の取組配布チラシ

### 3. 導入済み基盤/サービスの浸透・拡大 (2/2)

利用者	内容	実績数	昨年度（前回報告）状況
市民	書かない窓口	利用件数 <b>1,016件</b> ※減少の考察：転入、転出届自体の減少、システム標準化により使用できない時期があったため。	1,330件
市民	LINEによる情報発信	お友達登録者数 <b>10,144名</b> (有効登録者数 8,844名) 受信設定者数 <b>5,666名</b> 配信数 <b>206件</b> (健康づくり43,秘書広報30,文化観光18など)	お友達登録者数 9,675名 受信設定者数 4,676名 配信数 114件
市民	キャッシュレス決済	キャッシュレス決済利用 <b>119件</b> (クレジットカード26件,QRコード決済93件)	(未導入)
市民/業者等	公開GISによる 情報公開	せとうちデジマップアクセス数 <b>24,746件</b> (コンテンツ <b>7種類</b> )	19,921件 (コンテンツ 6種類)
業者	電子契約	入札案件の電子契約率 <b>100% (224件/224件)</b>	99% (275件/278件)
職員	テレワークの推進	テレワーク延べ利用人数 <b>359名</b>	290名
職員	電子決裁	電子決裁数 <b>46,794件</b> (收受19,762、起案27,032) 併用決裁数 <b>2,122件</b> (收受15、起案2,107)	電子決裁数41,625件 併用決裁数1,801件
職員	BRIDGE・AIチャット	利用人数 <b>352名</b> (全職員の47%) 総トークン数 <b>約83,800,000トークン</b>	(R6.9~)利用人数190名 総トークン数8,800,000

# 4. 推進中プロジェクトの完遂（システム標準化）

R4年度から進めてきたシステム標準化が、生活保護業務を除きR7年度本番稼働しました。利用原課においては、運用テスト等ご協力頂きありがとうございました。



## 4. 推進中プロジェクトの完遂とセキュリティ運用の徹底

瀬戸内市においては、「情報セキュリティポリシー基本方針」「情報セキュリティポリシー対策基準」をR6年度末更新しました。情報セキュリティにおいては、R8年4月から、ポリシー等の外部公開、遵守の義務化が予定されており、R8年度にスムーズな運用開始ができるように、R7年度は基本方針、対策基準、実施手順をベースに運用ルールを策定・庁内へ公開し、その後、運用ルールの全体説明会および担当者説明会を開催しました。



### 瀬戸内市 情報セキュリティ対策推進本部 設置及び運用ルール等について

2026/2/27  
瀬戸内市 総務部 DX戦略室

瀬戸内市「情報セキュリティポリシー運用ルール」  
全体説明会資料イメージ



### 瀬戸内市情報セキュリティ運用等担当者説明会

2026/3/18  
瀬戸内市 総務部 DX戦略室

担当者説明会資料イメージ

1  
Copyright 2026 瀬戸内市 All rights reserved.

# 5. 重点施策以外のその他の実績

## ＜市民の情報格差是正の支援(スマートフォン教室)＞

市を含め、市民にインターネットで情報を公開することが益々増加していく中、高齢者等インターネットで情報を得る方法が分からなく、市民間での情報格差が今後問題になってきます。

市民の情報格差を是正するため、スマートフォン教室等の開催を以下のとおり計画、実施いたしました。

高齢者向け スマートフォン教室		
時期	令和7年10月8日～12月18日	令和7年10月7日～12月23日
回数/場所	公民館開催 全9回 (中央3、牛窓3、長船3)	移動車開催 全12回 (本庁2、図書館1、ゆめタウン3、 ゴダイドラッグ3、ハローズ長船店3)
案内	市広報紙 市ホームページ 市LINE配信	
参加人数	延べ105人※ (昨年度138人)	

※考察：広報折り込みチラシの回数を減らしたため、減少したと考えられる

11月・12月にスマホ体験教室を行います

**参加無料**

スマホに興味がある人や初めての方向けに、市主催で2種類(少人数制と公民館)のスマホ体験教室を行います。スマホをお持ちでない方にはスマホを貸し出します。ぜひご参加ください。

**少人数制(専用車両内)によるスマホ体験教室**

①～⑤の講座ごとに申込を受け付けております。各講座先着3人です。何回でも受講可能です。

開催日	場所	時間・内容	申込方法
11月4日(火)	瀬戸内市民図書館・中央公民館駐車場 (長久町東側465-1)	① 11時～12時 講座内容 ①	申込期限までに電話で申し込みをしてください。 【申込期限】各講座の開催日前日 ■スマホ教室受付センター ☎0800-111-9442 (受付時間)9時～17時 ※土・日・祝も受付可能です。
11月11日(火)	ゆめタウン長船 駐車場 (長久町東側268)	② 13時～14時 講座内容 ②	
11月18日(火)	ゴダイドラッグ牛窓店 駐車場 (牛窓町牛窓4537)	③ 14時30分～15時30分 講座内容 ③	
11月25日(火)	ハローズ長船店 駐車場 (長船町東部527)	④ 16時～17時 講座内容 ④	
12月2日(火)	瀬戸内市役所本庁 駐車場 (長久町東側300-1)	⑤ 11時～12時 講座内容 ⑤	
12月9日(火)	ゆめタウン長船 (長久町東側268)	⑥ 13時～14時 講座内容 ⑥	
12月16日(火)	ゴダイドラッグ牛窓店 駐車場 (牛窓町牛窓4537)	⑦ 14時30分～15時30分 講座内容 ⑦	
12月23日(火)	ハローズ長船店 駐車場 (長船町東部527)	⑧ 16時～17時 講座内容 ⑧	

【講座内容】

①「LINEでコミュニケーション」 トークの送り方、写真・スタンプの送り方、ビデオ通話の仕方が学べます。	②「スマホの使い方(入門編)」 スマホの画面の見方、電話・文字入力・メールの送信方法が学べます。	③「スマホの使い方(基礎編)」 カメラ・動画の撮影、二次元バーコードの読み取り、マップをしながらの基本操作・ルート検索が学べます。
④「スマホの使い方(応用編)」 インターネットの調べ方、音声操作、アプリの追加方法が学べます。	⑤「スマートフォンを安全に使うためのポイント」 スマートフォンを安全に使うための基本的なポイントが学べます。	

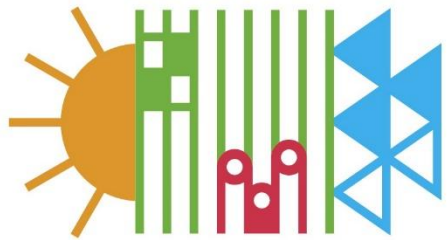
「公民館でのスマホ体験教室」は裏面をご覧ください →

### 市広報紙折り込みチラシ

# (参考資料) R7年度 DX取組報告会での発表一覧

3月に実施したDX取組報告会における、代表者の発表内容です。本件、業務が継続できるように、随時改善対応をお願いします。

業務名	原課（連携課）
主催講座受付業務デジタル化の事例	教育委員会瀬戸内市民図書館
債権者登録業務の効率化	出納室
新設科目登録アプリ化について	総務部財政課
せとうちダイバーシティ宣言制度登録のアプリ化	総合政策部ダイバーシティ推進室
特定健診（集団健診）受診予約の電子化	市民部国保年金医療給付課
廃棄物処理手数料減免申請の電子化	環境部生活環境課
戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の手続き事務のオンライン化	福祉部福祉課
こども誰でも通園制度の申請（オンライン化）	こども・健康部こども家庭課
自衛消防訓練通知書の電子申請について	消防本部予防課
地下埋設物確認協議アプリ	上下水道部上水道施設課
生活習慣病療養計画書作成負担軽減について	病院事業部瀬戸内市民病院
要望書受付業務のオンライン化・対応状況の見える化	産業建設部建設課



三 東 道 戸 内 市